

校訓	真善美	平成31年度学校だより	発行日	令和元年5月14日
教育目標	自主、自立、感謝の精神を抱き、 未来を拓く生徒の育成 —豊かな心、確かな学力、健やかな体を育てる—	「荒中だより」 第6号	発行者	伊丹市立荒牧中学校 校長 難波 重之

修学旅行を成功させよう!!

暦こよみのうえでは「立夏」りっかを過ぎました。この時期はさわやかな晴天が続き、一年のうちで最も過ごしやすい頃と言われます。太陽の光をいっぱい浴び、万物がすくすくと成長していく季節です。皆さんも間もなく行われる**学年行事への取り組みを通して、大きく成長してください。**

最初の学年行事として、三年生が22日(水)から3日間、長崎方面へ修学旅行に行きます。長崎はおよそ200年続いた鎖国時代さこくに、唯一海外に港が開かれた国際貿易都市であったことから、様々な文化が行き交った町として知られています。日本、中国、オランダの文化が混ざり合い、「和・華・蘭文化」わ か らんや「ちゃんぽん文化」と呼ばれています。海外文化の窓口であったことから、美術工芸品や西洋医学などは長崎から広まっていきました。2日目に長与町ながよで行う「ペーロン競漕」きょうそうも、その当時長崎に住んでいた中国人が始めたイベントでした。

また、江戸時代、徳川幕府による禁教政策により、キリスト教徒に対する厳しい弾圧だんあつ(キリスト教信者であることをやめさせるなどして強く押さえつけること)が行われました。その頃の「潜伏キリシタン関連遺産」せんぷくとして、**昨年世界遺産に登録された大浦天主堂や旧グラバー住宅**などが山手に立ち並んでいます。

長崎は異国情緒漂じょうちやただよう美しい町並みであると同時に、第二次世界大戦の時に原子爆弾が投下され、町の北側大部分が破壊されました。その原子爆弾によって7万人以上の方々の尊とうとい命が奪われました。私達は、この機会を通して、**戦争や被爆の悲惨さと向き合い、平和について深く考えなければなりません。**

三年生は二年生の時に、神戸での校外学習で班行動の練習をしました。その後、長崎のことについて自分



大浦天主堂

でテーマを決めて調べ、紙面発表しました。また、被爆体験をされた^{かしまたかはる}鹿島孝治さんの実体験に基づいた説得力のある講話を聴かせていただきました。修学旅行まであと少しですが、残りの取り組みをしっかりと行った上で本番に臨んでください。修学旅行を終えた後、一段とたくましく成長している三年生の姿を今から楽しみにしています。



中間テストが間近です

今週16日(木)、17日(金)に、2、3年生にとっては学年最初の間接テストが行われます。新学期がスタートしてからまだ日が浅く、テスト範囲は広くありません。具体的な目標を立て、計画もきっちり考えて取り組んでいますか？残りの日はわずかですが、考えた計画をコツコツと実行し、ぜひ納得のいく成績をおさめてください。1年生は今回中間テストを行いません。授業の中で行う単元テストをそれに替えたいと考えています。

きらめけ!!荒中生!!

バスケットボール 市内春季大会(4/20、27、28)

男子 **優勝** 決勝 対松崎 57-42 女子 **優勝** 決勝 対北 64-35

バドミントン 伊丹市協会長杯(5/3)

3年女子団体 荒牧B **優勝** 荒牧A **準優勝**

男子シングルス 山内育海 **準優勝**

バレーボール 市内春季大会(4/28) 男子 **準優勝**

男子卓球 加古川市近郊中学生卓球大会(4/27)

3年生の部 **準優勝** 2年生の部 **準優勝**

ソフトボール 全日本中学生大会 伊丹市予選(4/20、21) **3位**

☆4月のごはん残食ゼロのクラスは、3年生全クラスと2-2、2-3、2-6

でした。1年生も準備等に早く慣れ、残食ゼロを目指しましょう!!



自信と誇りを持てる学校を創ろう!!